



# 釧路市

市勢要覧2016

KUSHIRO





釧路市長 蝦名 大也

釧路市は、北海道の東部、太平洋岸に位置し、「釧路湿原」「阿寒」の二つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれた街であり、東北海道の中核・拠点都市として社会、経済、文化の中心的功能を担っております。

釧路市には、大規模な食品・製薬工場や製紙工場のほか、全国唯一の石炭の坑内掘稼行炭鉱を有しており地域の主力産業として地域経済の核となっております。

国内有数の水揚げ量を誇る水産業、豊富な森林資源を有する林業、背後圏の酪農をはじめとする豊かな農業に支えられた、日本の食料基地といえる地域であります。安全・安心で良質な食料の供給体制の形成に努めるとともに、この恵みを与えてくれる自然環境の保全や環境調和型の循環社会実現への取り組みを進めております。

これらの地域産業を支えているのが、国際バルク戦略港湾に選定された釧路港や、東北海道の航空輸送拠点である釧路空港であり、道東自動車道阿寒インターチェンジの開通を始め、現在整備が進められている阿寒インターチェンジ～釧路西インターチェンジ間の完成により、今後、飛躍的に物流機能が高まるものと期待しております。

また、特別天然記念物「タンチョウ」や阿寒湖の「マリモ」をはじめとする世界的にも貴重で魅力あふれる地域資源が豊富にある中、「観光立国ショーケース」のモデル都市に選定され、環境と調和した国際観光都市として世界ブランド“くしろ”を発信して参ります。さらには、夏でも最高気温が20度前後と涼しい快適なわが街は、移住・長期滞在にも適した地域であります。

私たちが愛するこの街が、未来へ向けてさらなる発展を続けていくために「自然とまちの魅力が賑わいを創り、活力みなぎる環境・交流都市“釧路”」の実現を目指し、羽ばたきを続けて参ります。



# 目次

P 3～・・・釧路市の概要

P 6～・・・経済・産業

P 8～・・・観光・港湾・空港

P 9～・・・環境・衛生・医療

P 10～・・・教育・福祉

P 11～・・・歴史とあゆみ

P 14～・・・交通アクセス



# 釧路市の概要

東北道のゲートウェイ釧路市

## 位置

東経 144°22'24"

北緯 42°58'10"

## 面積

1,362.92km<sup>2</sup>

## 市役所等

○釧路市役所

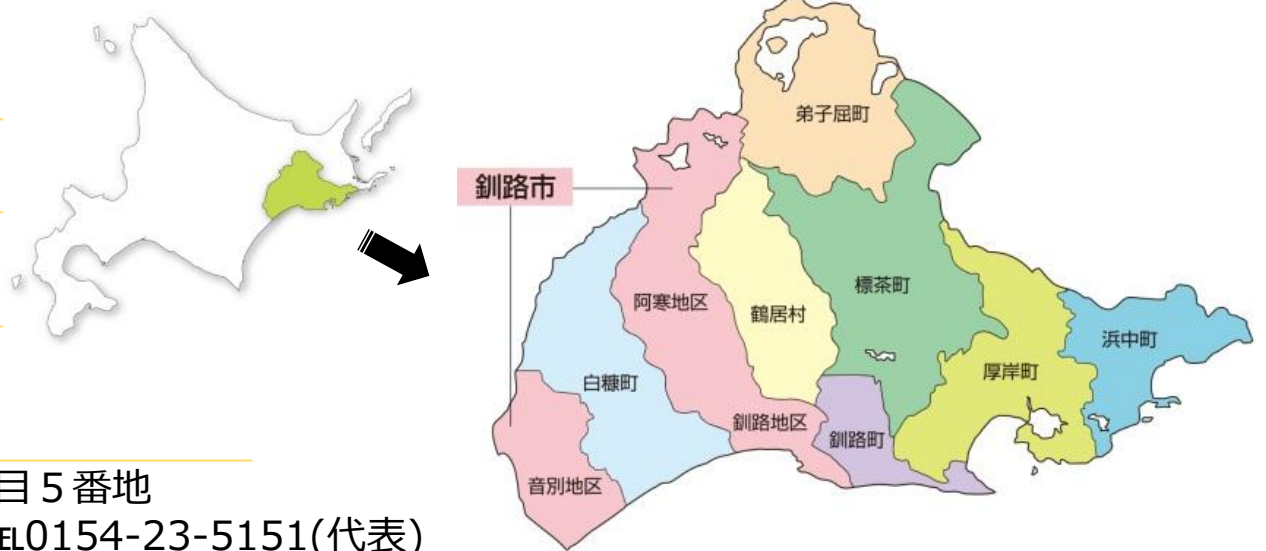
釧路市黒金町7丁目5番地  
(〒085-8505) TEL0154-23-5151(代表)

○阿寒町行政センター

釧路市阿寒町中央1丁目4番1号  
(〒085-0292) TEL0154-66-2121(代表)

○音別町行政センター

釧路市音別町中園1丁目134番地  
(〒088-0192) TEL01547-6-2231(代表)



## 面積の変遷

編入年月日	事項	編入面積	総面積	(単位:km <sup>2</sup> )
平成17年10月11日	廃置分合(新設合併)※		1,362.75	
	旧釧路市	222.10		
	旧阿寒町	739.25		
	旧音別町	401.40		
平成26年10月1日	面積測定方法の変更	0.17	1,362.92	

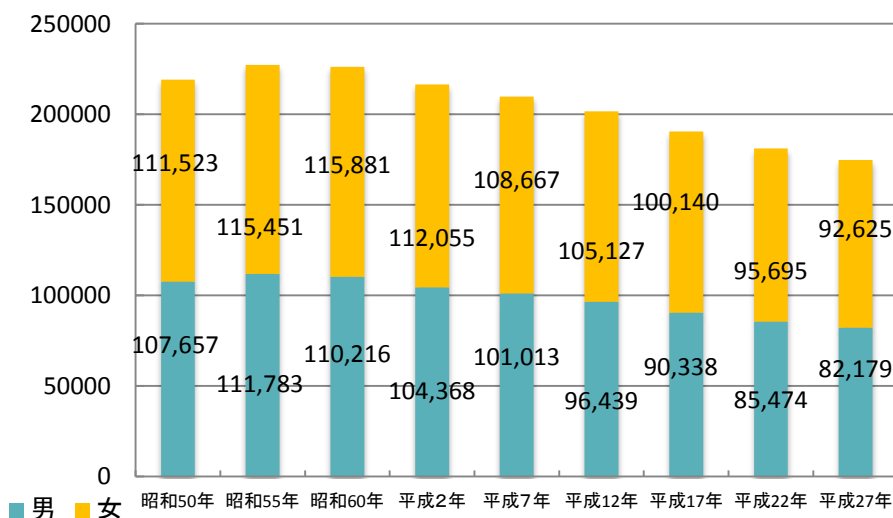
※ 地方自治法(昭和22年法律第67号)第7条第1項の規定により、釧路市、阿寒郡阿寒町及び白糠郡音別町を廃し、その区域をもって釧路市を設置

<資料:市総務課>

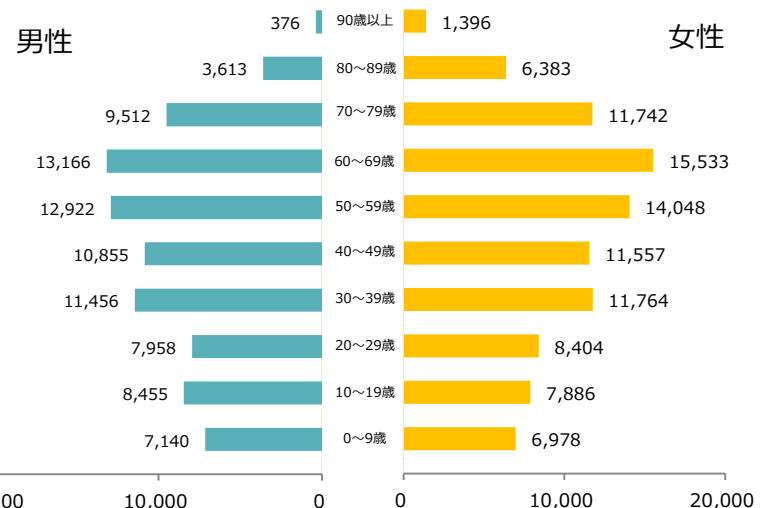
## 人口

175,210人 <平成28年3月末 住民基本台帳>

### ● 人口の推移 <資料:国勢調査結果>(単位:人)



### ● 年齢別割合 <資料:平成22年国勢調査結果>(単位:人)





## 市民憲章 (平成18年10月11日釧路市合併一周年記念式典において制定)

### 前文

わたしたちは、広野に丹頂が舞い、夕焼けが太平洋を染める釧路の市民です。  
わたしたちは、先人の開拓精神をうけつぎ、生産都市を誇りとして、健康で明るく、豊かで文化の香り高いまちを築くために、この憲章を定めます。きょうを充実させ、あすを発展させるために。

### 本文

- 1、元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう
- 1、きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう
- 1、緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう
- 1、人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう
- 1、文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう
- 1、郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう

## 市の花 (平成18年10月11日釧路市合併一周年記念式典において制定)



◆キンレンカ  
ノウゼンハレン科  
キンレンカ属



◆スズラン  
ユリ科  
スズラン属



◆エゾリンドウ  
リンドウ科  
リンドウ属

## 市の木 (平成18年10月11日釧路市合併一周年記念式典において制定)



◆ハシドイ  
モクセイ科  
ハシドイ属



◆エゾヤマザクラ  
バラ科  
サクラ属

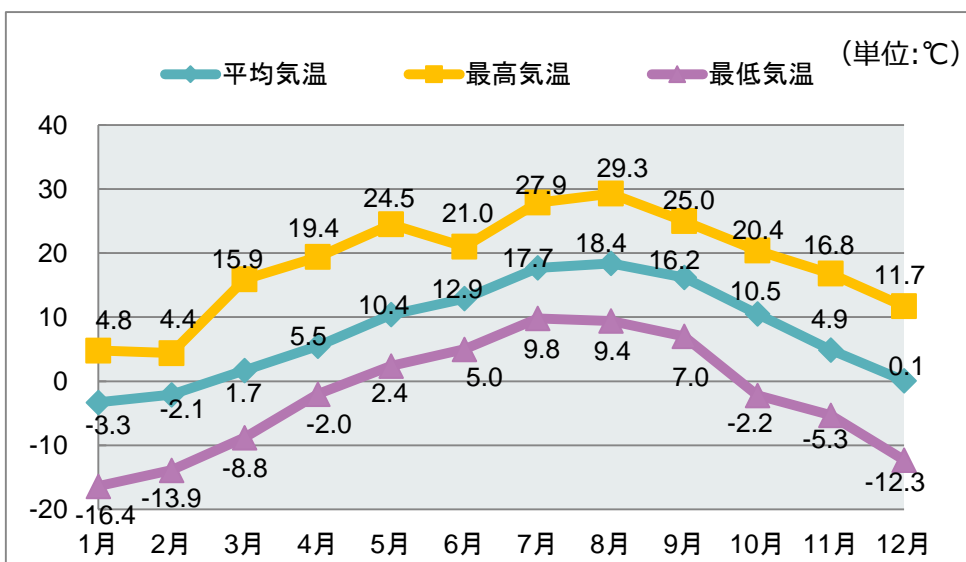


◆ナナカマド  
バラ科  
ナナカマド属

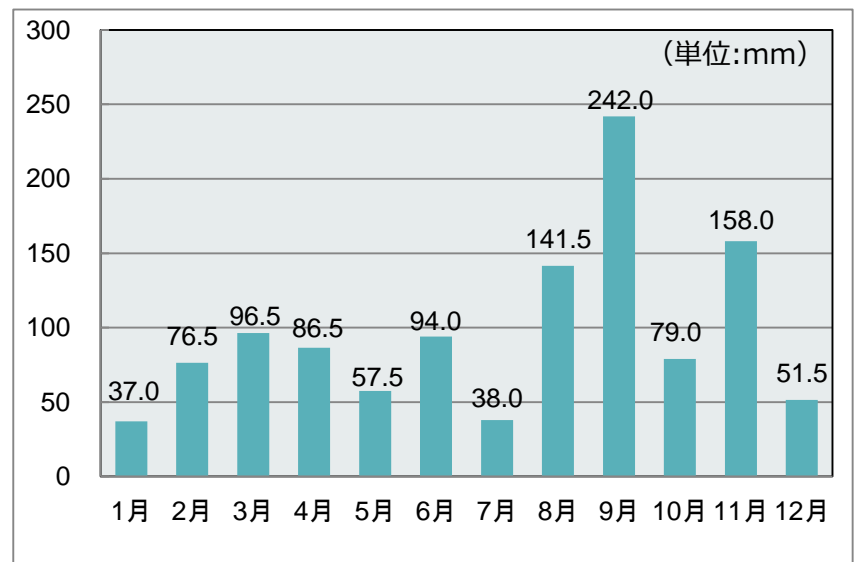
## 気象

梅雨がなく、夏は涼しく、秋冬は日照率が高く、降雪が少ないのが、釧路の気象の特徴です。

### 月別平均気温・最高・最低気温 <H27・資料：気象統計情報>



### 月別降水量 <H27・資料：気象統計情報>





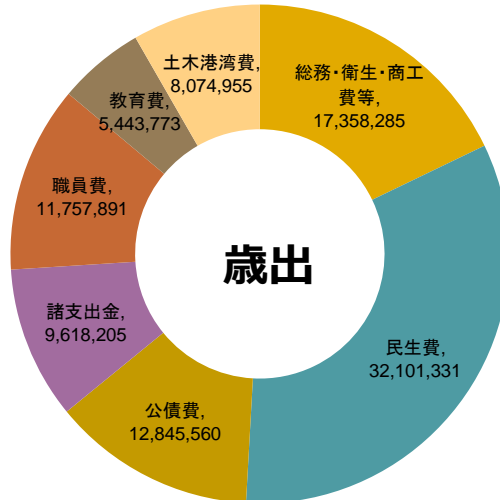
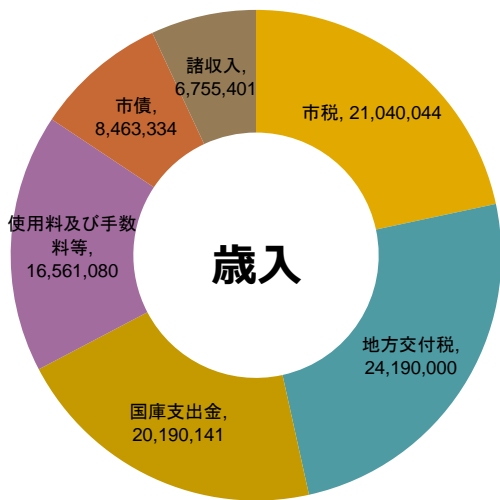


財政

平成28年度当初予算 ～ 全会計総額：1,773億9,089万7千円～

● 一般会計 (単位:千円)

～ 一般会計総額：972億円～



● 特別会計 (単位:千円)

～ 総額：407億8,914万3千円～

国民健康保険	21,957,178
阿寒診療所事業	461,987
音別診療所事業	261,215
後期高齢者医療	2,172,961
介護保険	
保険事業勘定	15,244,453
介護サービス事業勘定	124,986
農業用簡易水道事業	13,771
駐車場事業	191,291
動物園事業	361,301

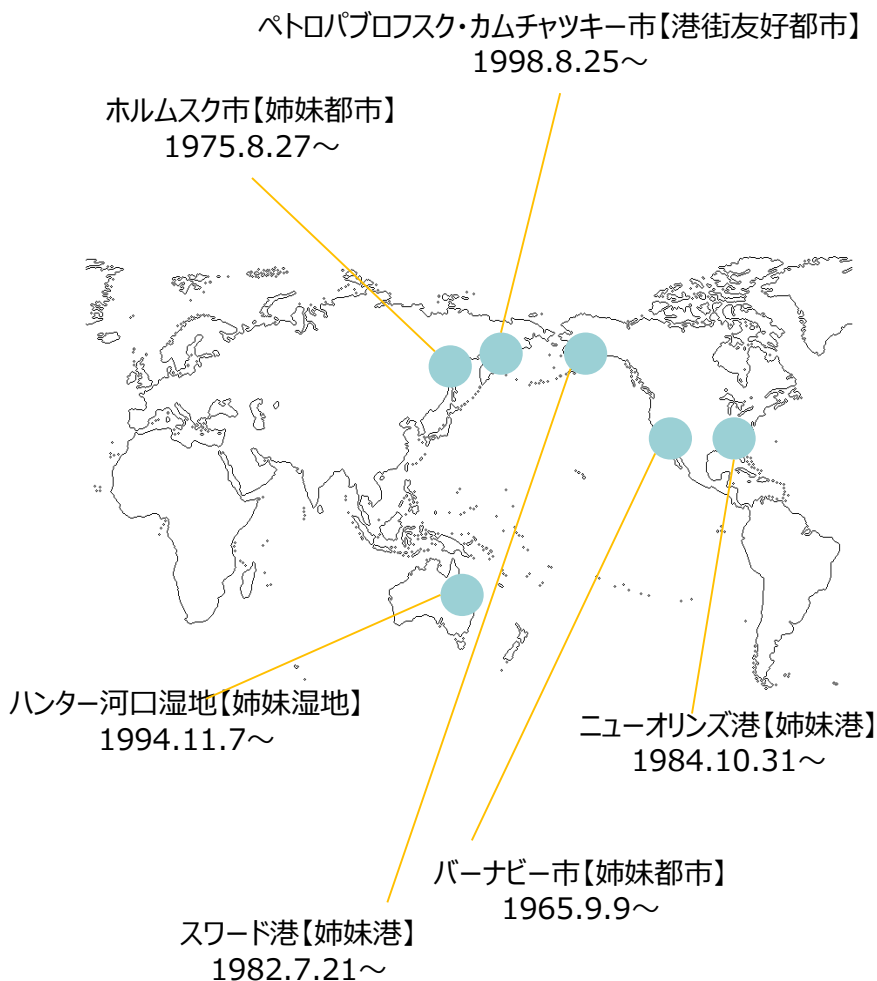
● 企業会計 (単位:千円)

～ 総額：394億175万4千円～

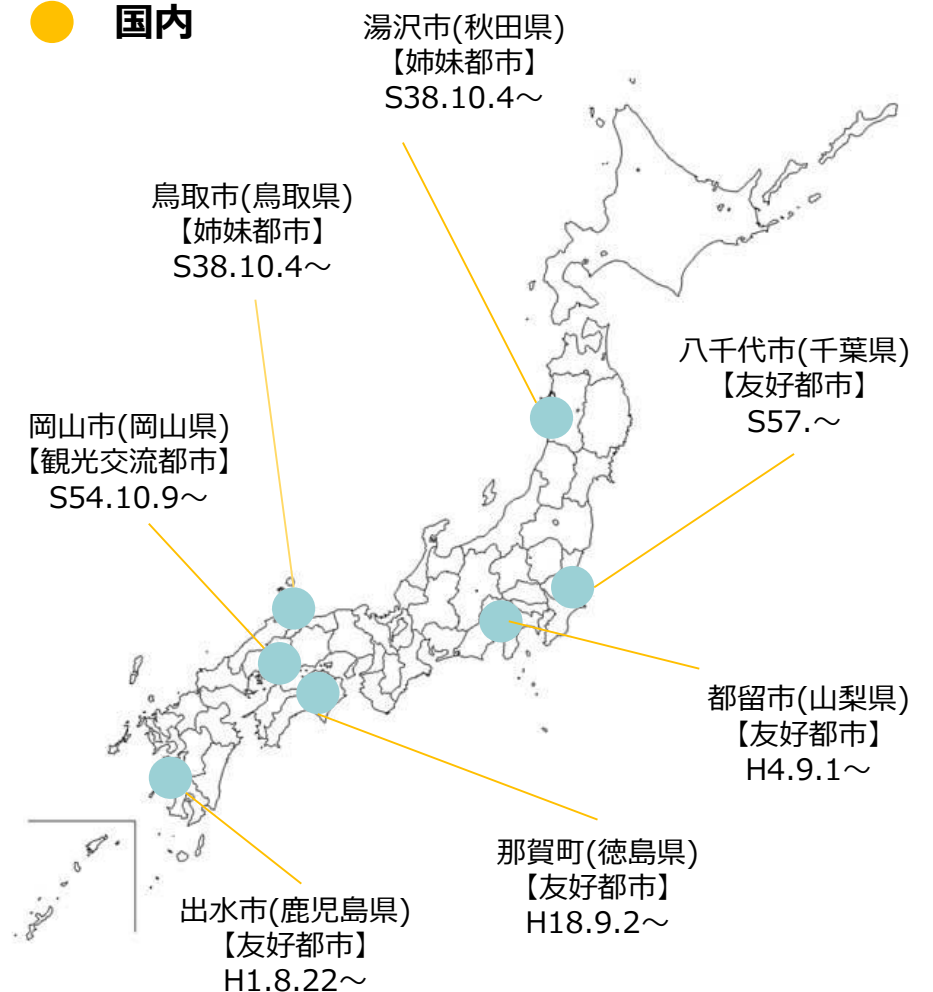
病院事業	17,810,504
水道事業	8,669,559
工業用水道事業	76,945
下水道事業	11,008,952
公設地方卸売市場事業	341,174
市設魚場事業	233,385
港湾整備事業	1,261,235

姉妹都市等

● 海外



● 国内



日本で唯一”生きたヤマ《炭鉱》”  
がある釧路市

## 経済・産業

漁業や酪農業、林業といった第一次産業をはじめ、石炭産業や紙パルプ等の工業が地域の基幹産業を形成しています。産業間の新たな連携を図ることで、更なる地域経済の発展に努めております。

### ● 市内総生産額の推移 <資料：市都市経営課>

項目	金額（千円）			構成比（%）			対前年度増減率（%）	
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度
1.産業	501,992,714	507,701,474	490,335,364	85.7	85.5	85.1	1.1	△3.4
(1) 農業	3,319,665	3,376,477	3,407,133	0.6	0.6	0.6	1.7	0.9
(2) 林業	179,956	231,823	113,775	0.0	0.0	0.0	28.8	△50.9
(3) 水産業	6,235,617	5,440,074	5,119,429	1.1	0.9	0.9	△12.8	△5.9
(4) 鉱業	3,105,374	3,840,030	3,438,077	0.5	0.6	0.6	23.7	△10.5
(5) 製造業	67,254,923	81,271,922	72,957,698	11.5	13.7	12.7	20.8	△10.2
(6) 建設業	25,234,890	27,047,547	24,844,223	4.3	4.6	4.3	7.2	△8.1
(7) 電気・ガス・水道業	21,351,222	17,093,520	7,452,930	3.6	2.9	1.3	△19.9	△56.4
(8) 卸売・小売業	84,922,966	86,413,290	86,112,940	14.5	14.6	14.9	1.8	△0.3
(9) 金融・保険業	29,386,634	26,445,238	24,860,172	5.0	4.5	4.3	△10.0	△6.0
(10) 不動産業	71,102,670	70,816,641	70,989,667	12.1	11.9	12.3	△0.4	0.2
(11) 運輸業	43,993,427	40,166,046	42,244,748	7.5	6.8	7.3	△8.7	5.2
(12) 情報通信業	14,294,849	12,649,501	11,704,186	2.4	2.1	2.0	△11.5	△7.5
(13) サービス業	131,610,521	132,909,365	137,090,386	22.5	22.4	23.8	1.0	3.1
2.政府サービス生産者	70,954,497	71,083,230	70,049,604	12.1	12.0	12.2	0.2	△1.5
(1) 電気・ガス・水道業	2,430,310	2,396,447	2,505,892	0.4	0.4	0.4	△1.4	4.6
(2) サービス業	18,920,276	18,862,046	18,931,450	3.2	3.2	3.3	△0.3	0.4
(3) 公務	49,603,911	49,824,737	48,612,262	8.5	8.4	8.4	0.4	△2.4
3.対家計民間非営利サービス生産者	12,233,828	13,415,662	14,326,992	2.1	2.3	2.5	9.7	6.8
4.小計（1 + 2 + 3）	585,181,039	592,200,366	574,711,960	99.9	99.7	99.7	1.2	△3.0
5.輸入品に課される税・関税	3,290,666	4,463,581	4,574,590	0.6	0.8	0.8	35.6	2.5
6.総資本形成に係る消費税	△2,920,366	△2,802,290	△2,901,540	△0.5	△0.5	△0.5	4.0	△3.5
合計（4 + 5 + 6）	585,551,339	593,861,657	576,385,010	100.0	100.0	100.0	1.4	△2.9

### ● 産業別民営事業所数・従業者数の推移（単位：事業所、人） <資料：市都市経営課>

産業分類	平成24年2月1日		平成26年7月1日		増減数		増減率（%）	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
全産業	8,517	71,190	8,629	72,961	112	1,771	1	3
農業・林業・漁業	50	606	45	567	△5	△39	△10	△6
鉱業	11	411	9	429	△2	18	△18	4
建設業	738	5,588	723	5,596	△15	8	△2	0
製造業	340	6,141	364	6,077	24	△64	7	△1
電気・ガス・熱供給・水道業	7	370	11	383	4	13	57	4
情報通信業	61	545	60	456	△1	△89	△2	△16
運輸業	301	5,795	291	5,837	△10	42	△3	1
卸売・小売業	2,033	15,915	2,051	15,700	18	△215	1	△1
金融・保険業	213	2,548	197	2,324	△16	△224	△8	△9
不動産業	906	2,092	837	1,979	△69	△113	△8	△5
飲食店、宿泊業	1,399	7,695	1,448	8,060	49	365	4	5
医療、福祉	518	9,631	633	11,585	115	1,954	22	20
教育、学習支援業	190	1,556	215	1,670	25	114	13	7
複合サービス業	44	365	47	546	3	181	7	50
サービス業等	1,706	11,932	1,698	11,752	△8	△180	△1	△2

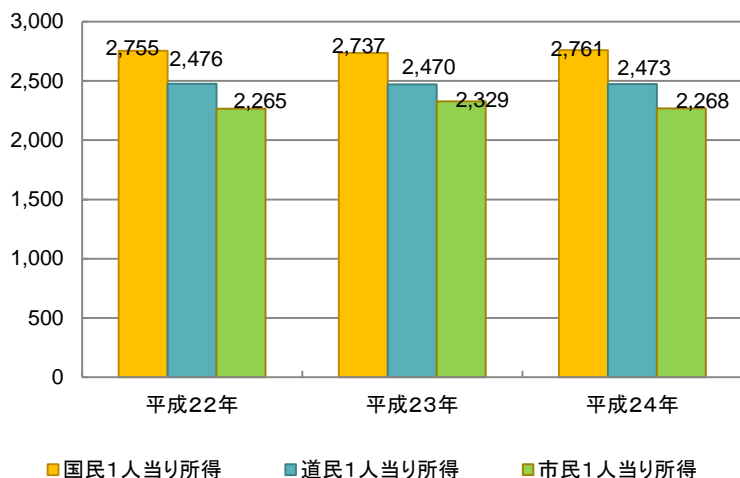




日本有数の漁場と漁獲量、釧路の魚は脂ノリ抜群

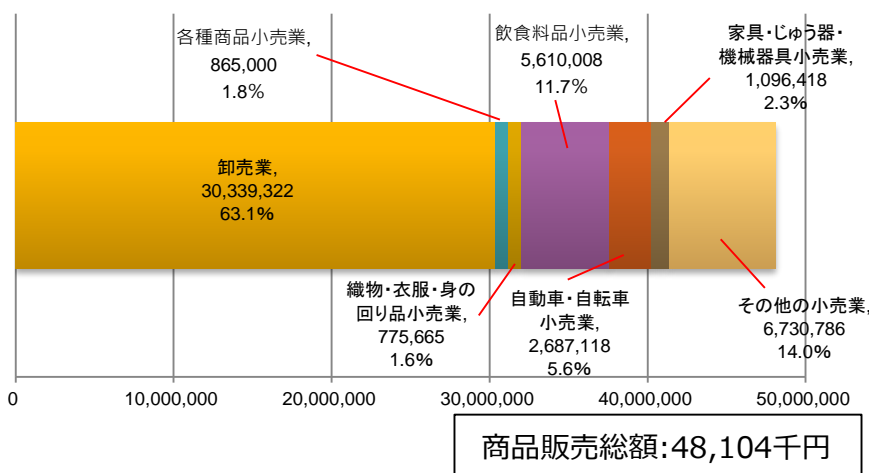
● 国民・道民・市民1人当たりの所得比較 (単位:千円)

<資料: 総務省統計研修所編集「第65回日本統計年鑑」、市都市経営課>



● 商品販売額 …平成26年7月1日現在

<資料: 市都市経営課>



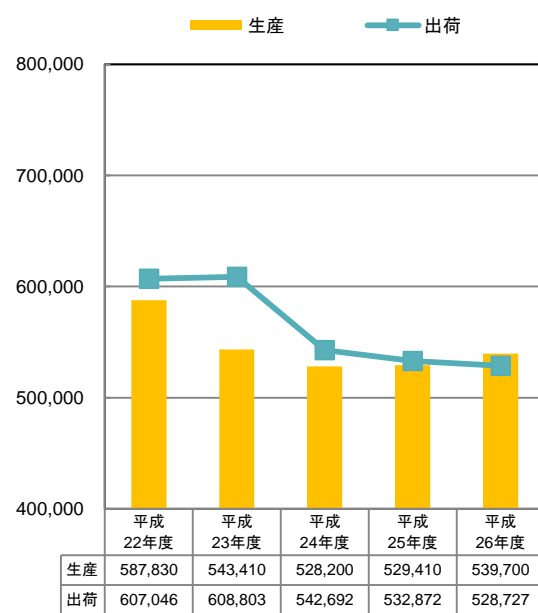
● 魚種別漁獲高

<資料: 市水産課>

魚種別	数量(t)・構成比		金額(千円)・構成比	
	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年
合計	110,668	130,571	9,021,716	12,777,794
すけとうだら	65,699	56,430	3,137,775	3,445,393
まだら	7,287	5,709	1,124,322	1,339,390
さんま	15,196	23,207	1,527,694	2,204,697
いか	3,001	8,431	709,906	1,895,592
かれい類	986	609	319,188	220,837
さけ・ます類	268	431	173,234	285,937
赤物	182	166	178,894	212,345
ほっけ	116	36	38,062	22,854
さば	2,695	9,317	400,759	791,049
いわし	9,483	20,523	327,673	1,040,849
ししゃも	196	120	342,030	176,301
その他	5,559	5,592	742,179	1,142,550

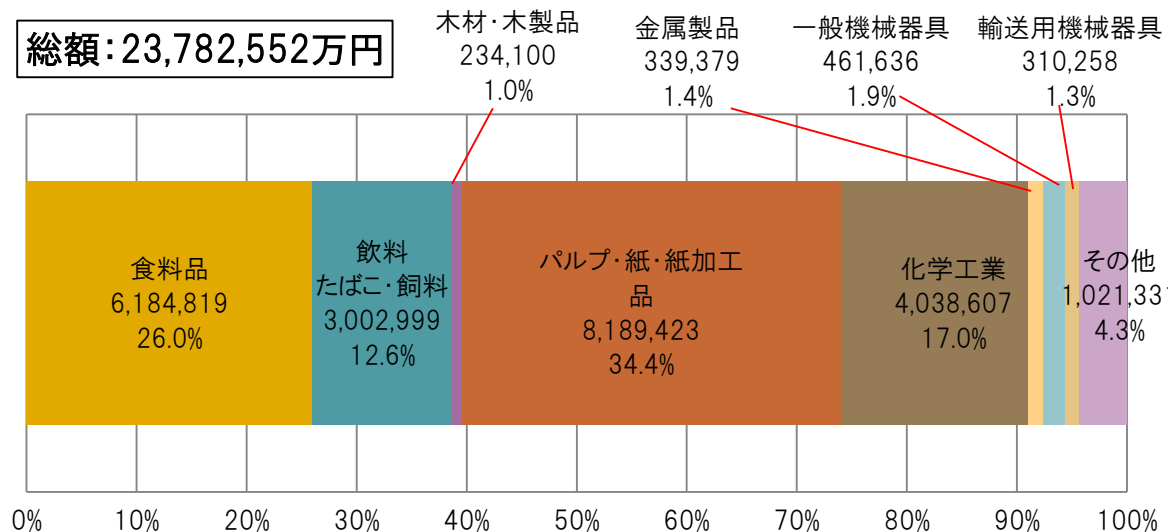
● 出炭状況 (単位:t)

<資料: 釧路コールマイン(株)>



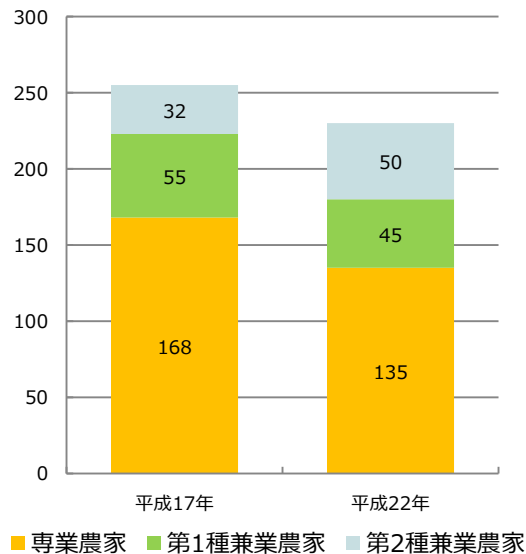
● 製造品出荷額等 …平成26年12月31日現在

<資料: 市都市経営課>



● 専業・兼業別農家数 (単位:戸)

<資料: 農林業センサス>

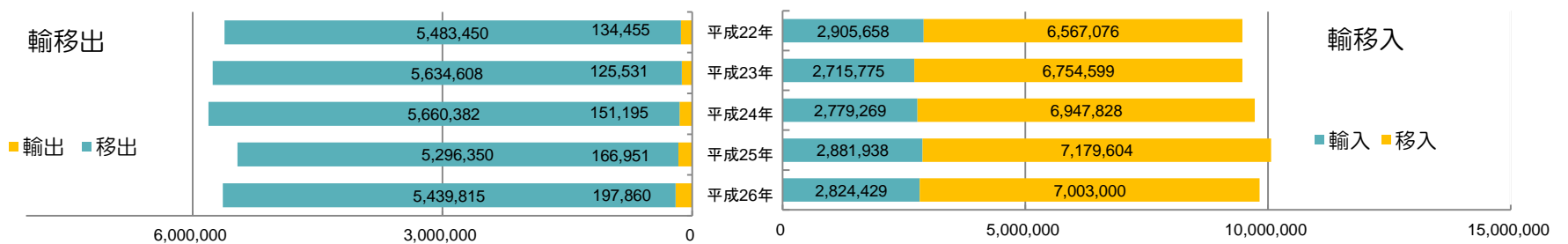




● **観光客入込数** (単位:人) <資料:市観光振興室・阿寒観光振興課・音別町行政センター地域振興課>

	旧釧路市			旧阿寒町			旧音別町		
	総数	道内	道外	総数	道内	道外	総数	道内	道外
平成22年度	2,070,466	1,431,800	638,666	1,022,389	522,162	500,227	11,486	11,010	476
平成23年度	2,040,865	1,419,299	621,566	931,118	514,133	416,985	10,431	9,943	488
平成24年度	2,278,803	1,586,441	692,362	1,049,373	578,398	470,975	8,367	7,891	476
平成25年度	2,451,653	1,699,137	752,516	1,067,458	593,774	473,684	7,187	6,770	417
平成26年度	2,777,440	1,913,772	863,668	1,131,620	641,132	490,488	8,777	8,223	554

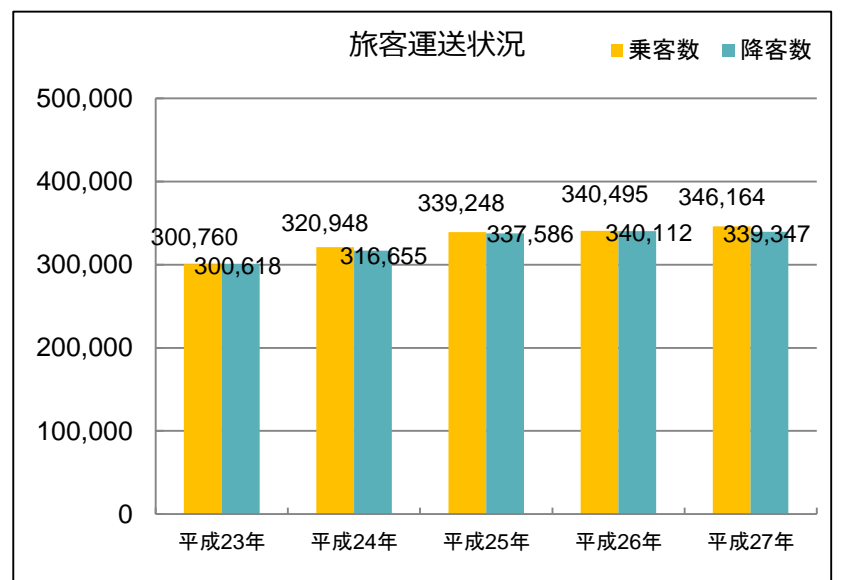
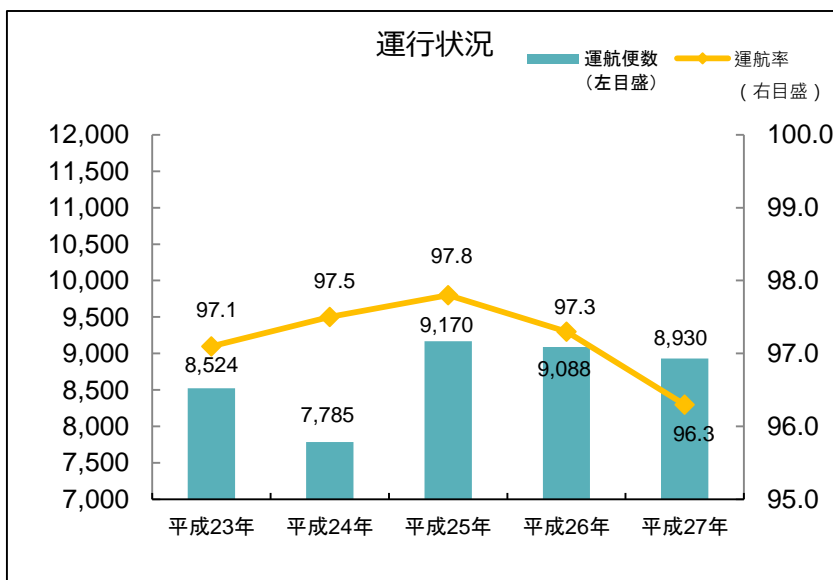
● **港湾貨物取扱量** (単位:t) <資料:釧路市港湾空港振興課「港湾統計調査」>



● **入港船舶数、総トン数** (単位:隻、t) <資料:市港湾空港振興課「港湾統計調査」>

	合計		外航商船				内航商船		漁船		その他	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	うち外国船		隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
					隻数	総トン数						
平成22年	17,432	15,778,377	358	3,431,876	358	3,431,876	2,687	11,629,720	13,989	471,740	398	245,041
平成23年	17,620	15,606,768	330	3,363,577	330	3,363,577	2,662	11,595,600	14,166	384,165	462	263,426
平成24年	16,940	15,785,745	326	3,666,631	326	3,666,631	2,694	11,517,880	13,483	361,315	437	239,919
平成25年	15,293	15,970,897	328	4,136,479	328	4,136,479	2,611	11,212,466	11,926	328,610	428	293,342
平成26年	15,601	17,117,729	343	5,317,734	343	5,317,734	2,534	11,169,850	12,396	415,510	328	214,635

● **空港利用状況** (単位:回、人) <資料:東京航空局釧路空港事務所>





## ● 都市公園の整備状況 <資料：市公園緑地課>

	総合計		総合公園		広域公園		運動公園		都市緑地		街区公園				近隣公園		地区公園		特殊公園	
	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	幼児公園		児童公園		箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)
											箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)						
平成22年度	248	384.77	4	156.00	-	-	1	66.55	21	77.35	55	2.46	148	37.78	14	24.00	4	20.00	1	0.63
平成23年度	249	385.27	4	156.00	-	-	1	66.55	21	77.35	55	2.46	148	37.78	14	24.00	5	20.50	1	0.63
平成24年度	249	387.45	4	156.00	-	-	1	66.55	21	79.53	55	2.46	148	37.78	14	24.00	5	20.50	1	0.63
平成25年度	251	395.82	4	156.00	-	-	1	66.55	22	83.05	55	2.46	149	38.03	14	24.00	5	25.10	1	0.63
平成26年度	251	395.82	4	156.00	-	-	1	66.55	22	83.05	55	2.46	149	38.03	14	24.00	5	25.10	1	0.63

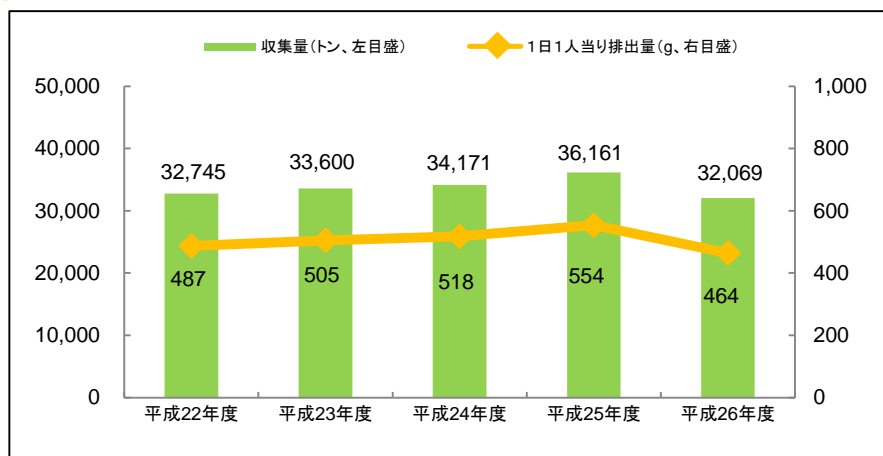
## ● 水道普及状況 <資料：市上下水道部>

	給水区域内人口(人)	給水人口(人)	普及率(%)	導送配水管延長(m)
平成22年度	187,457	187,372	100.0	1,018,407
平成23年度	185,584	185,497	100.0	1,021,583
平成24年度	183,737	183,652	100.0	1,023,282
平成25年度	194,628	194,492	99.9	1,137,736
平成26年度	192,773	192,636	99.9	1,139,830

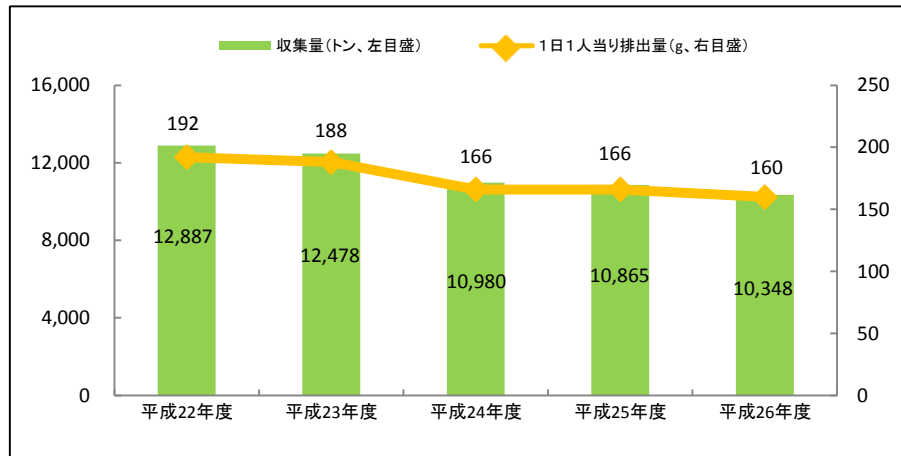
## ● 下水道普及状況 <資料：市上下水道部>

	整備面積(ha)	整備人口(千人)	処理面積(ha)	処理人口(千人)	管渠延長(km)	処理下水量(千m <sup>3</sup> /日)
平成22年度	4,537	180.6	4,536.9	180.6	1,442.5	71.4
平成23年度	4,537	178.8	4,536.9	178.8	1,467.0	70.7
平成24年度	4,537	177.5	4,536.9	177.5	1,469.5	70.0
平成25年度	4,538	175.7	4,537.7	175.7	1,471.3	69.3
平成26年度	4,539	174.1	4,538.8	174.1	1,475.2	68.7

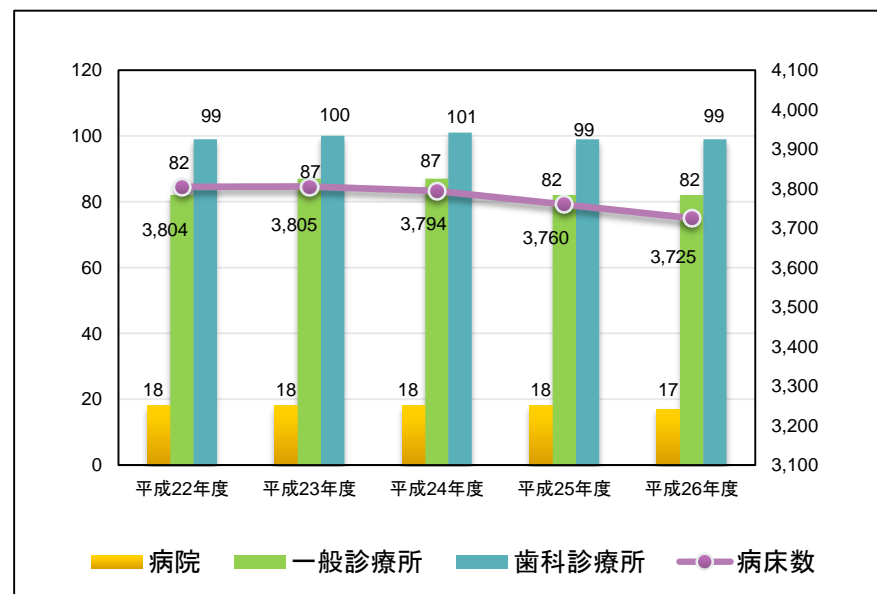
## ● ごみ収集状況 <資料：市環境事業課>



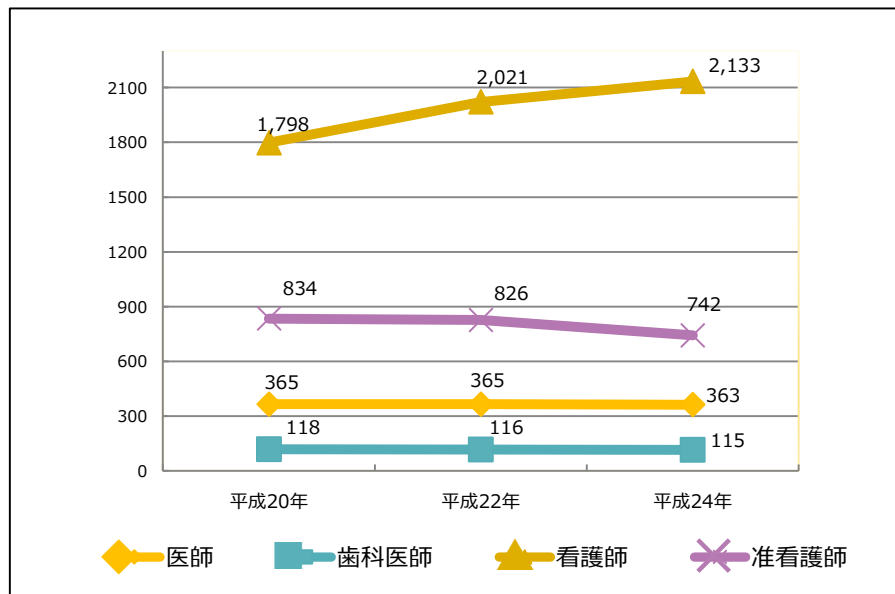
## ● 資源物収集状況 <資料：市環境事業課>



## ● 医療施設数の推移 (単位:箇所) <資料：釧路保健所>



## ● 医療従事者数の推移 (単位:人) <資料：釧路保健所>





釧路公立大学を有する釧路市

● **市内各学校の概要**・・・平成27年5月1日現在 (単位:人) <資料:市都市経営課>

幼稚園・小・中学校	学校数	学級数	教員数	児童・生徒数
幼稚園	29	125	203	2,493
小学校	29	370	607	8,329
中学校	17	177	377	4,428
高等学校	8	129	387	4,406

	学校名	学科	教員数	生徒数
大学・短大・高専 その他の学校	釧路工業高等専門学校	7	79	936
	釧路短期大学	2	18	186
	北海道教育大学釧路校	6 (3)	68	825 (39)
	釧路公立大学	2	38	1,324
	鶴野支援学校	11	39	53
	養護学校	43	93	165

● **図書館利用状況** <資料:市教育委員会生涯学習課・阿寒教育事務所阿寒生涯学習課・音別教育事務所音別生涯学習課>

	市立釧路図書館			釧路市阿寒町公民館図書室			釧路市音別町ふれあい図書館		
	開館日数(日)	貸出冊数(冊)	貸出人員(人)	開館日数(日)	貸出冊数(冊)	貸出人員(人)	開館日数(日)	貸出冊数(冊)	貸出人員(人)
平成23年	296	824,652	177,878	285	39,311	7,256	271	18,399	5,225
平成24年	303	817,521	175,175	287	36,032	6,186	272	18,497	5,038
平成25年	299	806,247	174,597	279	38,525	7,348	276	18,391	5,228
平成26年	302	731,024	161,794	277	34,936	7,183	272	16,676	5,287
平成27年	296	698,424	158,047	278	33,922	6,839	276	16,987	5,273

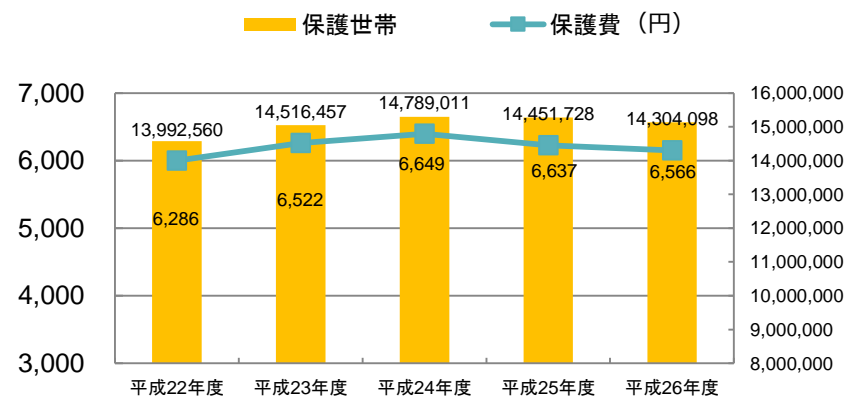
● **保育所の概要**・・・平成27年4月1日現在 (単位:人)

<資料:市こども育成課、阿寒・音別町行政センター保健福祉課>

	施設数	職員数	定員	入所児童数						
				総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
総数	27	371	1,885	1,676	94	215	310	341	348	368
公立	7	87	465	318	13	34	51	66	69	85
法人立	20	284	1,420	1,358	81	181	259	275	279	283

● **生活保護受給状況**・・・平成27年4月1日現在 (単位:世帯、円)

<資料:市生活福祉事務所、阿寒・音別町行政センター保健福祉課>





## ● 釧路市の歴史(寛政～昭和)

寛政 (1789-1801)	
11年	<旧釧路市> 幕府の直接経営となり釧路川口にクスリ会所・旅宿所・酒造所が設けられる。 <旧音別町> 幕府は、尺別に通行屋(旅宿所)を設ける。

文化 (1804-1817)	
元年	<旧阿寒町> 阿寒アイヌの居住について文献に出る。

安政 (1854-1860)	
2年	<旧釧路市> 前の年箱館(函館)が開港場となり、この年から幕府は再びこの地を直接経営する。 本州から漁場へ働きにくる人はますます多くなり、アイヌ人口は減り始める。

明治 (1868-1912)	
2年	<旧釧路市> 蝦夷地は北海道、クスリは釧路と改称され、釧路国釧路郡の名が定まる。 <旧阿寒町> 釧路国阿寒郡の名称確定、阿寒郡は兵部省の直轄下に入る。 <旧音別町> 音別は釧路国白糠郡に属す。
17年	<旧釧路市> 鳥取県旧土族が移住し、鳥取村が設けられる。
20年	<旧釧路市> 当時の春鳥の石炭を掘り始める。
22年	<旧阿寒町> 内地からの移住始まる。
30年	<旧阿寒町> 阿寒湖で「マリモ」発見。
31年	<旧音別町> 直別原野から入植者の入地がはじまる。
33年	<旧釧路市> 北海道一級町村制が施行され釧路町(人口10,309人)が誕生する。 道内初の製紙工場(前田製紙)ができる。 初代幣舞橋が国費でかけられる。
34年	<旧釧路市> 釧路-白糠間に鉄道が開通する。(明治40年には旭川経由で函館まで開通)
36年	<旧音別町> 官設鉄道釧路線が音別まで開通。音別駅ができ、営業を開始する。
39年	<旧阿寒町> 前田正名阿寒湖畔に入り開発に着手。
42年	<旧釧路市> 釧路に近代港湾を建設する予算が帝国議会を通過し、港湾修築工事が始まる。(釧路は北海道東部の鉄道・汽船輸送の結節点となる)

大正 (1912-1926)	
4年	<旧釧路市> マグロの水揚げが盛んで、東京へ出荷される。
7年	<旧音別町> 尺別炭砒が開坑。
8年	<旧音別町> 二級町村制が敷かれ、尺別村役場となる。
9年	<旧釧路市> 北海道区制が施行され、釧路区(人口39,392人)が誕生する。この時釧路村を分村する。 太平洋炭砒が開業し、富士製紙は鳥取の新工場で操業を始める。

9年	<旧釧路市> 東北・北海道に長雨があり、釧路川・阿寒川が氾濫して大洪水となる。 (釧路川に合流していた阿寒川は分離して独立した河川となる) <旧阿寒町> 北海炭砒株式会社(雄別炭砒株式会社)創業。
10年	<旧阿寒町> マリモが天然記念物に指定。
11年	<旧釧路市> 市制が施行され、釧路市が誕生する。(人口42,673人) <旧音別町> 尺別村が音別村に改称。
12年	<旧阿寒町> 二級町村制施行。
14年	<旧釧路市> 四代目幣舞橋を永久橋とする工事が始まる。(完成は昭和3年)

昭和 (1926-1989)	
9年	<旧阿寒町> 阿寒国立公園指定。
18年	<旧釧路市> 鳥取村に町制が施行され、鳥取町が誕生する。 <旧音別町> 1・2級町村制が廃止され、北海道指定村となる。
19年	<旧音別町> 音別炭砒・尺別炭砒が休坑。
21年	<旧阿寒町> 雄別炭砒三菱から分離。 <旧音別町> 尺別炭砒が復活。
24年	<旧釧路市> 釧路市と鳥取町及び白糠町の一部が合併。(人口85,180人) 北海道学芸大学釧路分校(現北海道教育大釧路校)開学。
27年	<共通> タンチョウが国の特別天然記念物となる。 <旧阿寒町> 阿寒湖のマリモが国の特別天然記念物となる。
32年	<旧阿寒町> 町制施行。阿寒町となる。
34年	<旧釧路市> 本州製紙釧路工場が操業開始。 <旧音別町> 町制施行。音別町となる。
35年	<旧釧路市> 釧路空港が完成、釧路-帯広-札幌線開設。
39年	<旧釧路市> 釧路女子短期大学(現釧路短期大学)開学。
40年	<旧釧路市> 国立釧路高等工業専門学校開学。
44年	<旧釧路市> 魚の水揚量、全国一を記録する。
45年	<旧阿寒町> 雄別炭砒閉山。 <旧音別町> 尺別炭砒閉山。
50年	<旧釧路市> 国勢調査で市の人口が20万人を超える。
51年	<旧釧路市> 五代目幣舞橋が完成し、翌年「道東の四季像」除幕。
52年	<旧阿寒町> タンチョウ観察センターオープン。
53年	<旧阿寒町> マリモ展示観察センターオープン。
59年	<旧釧路市> たんちよう国体(冬期スケート競技会)開催。
62年	<旧釧路市> 釧路湿原が28番目の国立公園となる。
63年	<共通> 釧路公立大学開学。



## ● 釧路市の歴史(平成)

平成(1989-)	
元年	<旧釧路市> 釧路フィッシャーマンズワーフがオープン。
2年	<旧釧路市> スイスの第四回ラムサール条約締約国会議で、第5回会議(平成5年)を釧路市開催と決定。
4年	<旧音別町> 音別町ふれあい図書館新築落成。
5年	<共通> 釧路沖地震。 <旧釧路市> 第5回ラムサール条約締約国会議開催。
6年	<共通> 北海道東方沖地震。 <旧釧路市> 国際会議観光都市認定。
7年	<旧釧路市> 地方拠点都市地域指定。 シマフクロウの人工増殖に世界で初めて成功。
8年	<旧阿寒町> マリモ展示観察センター(トーラサンペ)リニューアル。国際ソルセンター(グルス)新築落成。
9年	<旧釧路市> 第52回くしろ湿原国体(冬季スケート大会)が開催される。 振子式特急「スーパーおおぞら」が釧路・札幌間で運行を開始。
13年	<旧釧路市> 釧路川名称復活。(「旧釧路川」から「釧路川」へ)
14年	<旧釧路市> 釧路港西港第4埠頭一部供用開始(道東初の-14m岸壁)。 釧路工業技術センター開設。
15年	<共通> 十勝沖地震発生。

16年	<旧釧路市> 市民活動センター「わっと」オープン。
17年	<共通> 北海道横断自動車道(本別～釧路間)の工事が着工される。 ☆釧路市、阿寒町、音別町が合併し、新生「釧路市」が誕生する。 釧路こども遊学館オープン。
18年	第一回日中韓観光大臣会合が阿寒湖温泉で開催される。
19年	西消防署音別支署・音別町コミュニティセンターがオープン。
20年	千代の浦マリンパークがオープン。 総合体育館 湿原の風アリーナ釧路がオープン。
21年	阿寒湖まりむ館がオープン。 ドクターヘリの運航が開始。 第65回国民体育大会冬季大会(スケート競技会・アイスホッケー競技会)が開催される。
22年	小型惑星探査機はやぶさのカプセルが展示される。 釧路市事業仕分けを実施。
23年	釧路港が国際バルク戦略港湾に選定される。 釧路市動物園で飼育されていた2羽のタンチョウが、台北市動物園に無償貸与される。 東北地方太平洋沖地震発生。
24年	阿寒湖アイヌシアター「イコロ」がオープン。 台湾の復興航空による国際定期便が就航。
25年	エア・ドゥ釧路―羽田線を開設。 市民の寄付により釧路市動物園に4年ぶりにキリンを展示。
26年	釧路市連合町内会と釧路市との連携基本協定を締結。 武修館高校、釧路勢35年ぶりの甲子園出場。 音別町行政センター新庁舎落成。
27年	釧路市役所防災庁舎落成。
28年	道東自動車道 白糠IC～阿寒IC間開通

## ● 釧路市の歌

釧路市の歌

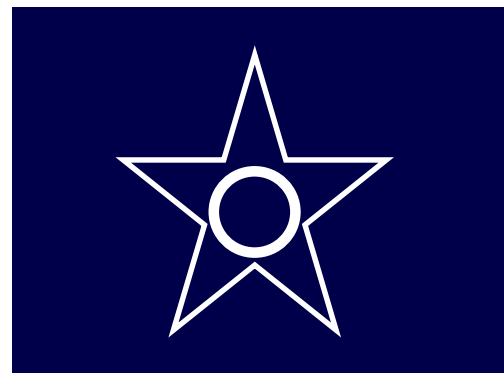
一、霧の都に 住むわれら  
求める道を 一筋に  
手を携えて 手を携えて  
文化を築く 力湧き  
喜びあふれ 花咲き香る  
釧路の風は 日々新しく

新生の  
宮川正男 作詞  
廣瀬量平 作曲

二、水辺のまちに 住むわれら  
暮らしを創る 灯をかかげ  
生産基地の 生産基地の 知恵と技  
光の大地 実り満ち  
潮路はるかに 幸を求めて  
釧路の海は 日々新しく

三、星降る里に 住むわれら  
歴史に学び 誇りある  
祖先の意思を 祖先の意思を 受け継いで  
明日の栄えと 幸せを  
きざむ礎 輝き増して  
釧路の人は 日々新しく

## ● 市章



【市章】

外側の星は北極星を、内側の円はクシロを意味する腕輪を表し、北海道を象徴する北極星に囲まれ、釧路市が栄えることを祈って作られました。







# 交通アクセス

## ●道東自動車道

・釧路 ⇄ 札幌  
4時間27分

## ●特急列車

・札幌 ⇄ 釧路  
(6往復) 約4時間

## ●都市間バス

・札幌 ⇄ 釧路  
(9往復) 約5時間  
・旭川 ⇄ 釧路  
(2往復) 約7時間  
・北見 ⇄ 釧路  
(2往復) 約3時間  
・根室 ⇄ 釧路  
(3往復) 約3時間



## ●航空便

・東京羽田 ⇄ 釧路  
(6往復) 1時間45分  
・札幌千歳 ⇄ 釧路  
(3往復) 45分  
・札幌丘珠 ⇄ 釧路  
(4往復) 45分  
・大阪(伊丹) ⇄ 釧路  
(1往復) 約2時間  
・名古屋(中部) ⇄ 釧路  
(1往復) 約2時間

※大阪(伊丹)便は7・8月運行予定  
※名古屋(中部)便は8月運行予定

大阪 ● 名古屋 ● 東京 ●

釧路の雪原に集う丹頂鶴

発行/釧路市総合政策部都市経営課  
発行日/平成28年6月



釧路という異国

